

事務事業事後評価シート[平成26年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部生涯学習文化課		■担当係	芸術文化係
■評価事業名称	青少年鑑賞事業補助金			
■評価事業コード	090200 - 083	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進		
	■施策	01 芸術文化活動の推進		
■事業の種類	06 負担金・補助金(ソフト事業)	■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の概要	児童生徒が豊かな感受性を育み社会性、協調性を学んでいくこと。青少年鑑賞事業補助金1,800,000円、市内小学生の芸術鑑賞及び芸術体験機会の提供(実施主体 北上市文化創造 演目 オペラシアターこんにやく座「森は生きている」)			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成26年度事業計画	平成26年度事業量実績
01	青少年鑑賞事業補助金	市内小学校3,4年生	1日公演×2回鑑賞人数 児童1,800人、一般50人	鑑賞人数児童1,724人、引率教諭86人

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考
直接事業費	1,800	1,800	1,601	1,595	
人件費			76	158	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,800	1,800	1,677	1,753	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標の説明
01	鑑賞会参加小学校率	100%	100%	100%	100%	市内小学校の3、4年生を対象とした鑑賞事業市内全小学校が参加
02	3、4年生の鑑賞会参加者率	99.2%	98.5%	99.8%	100%	市内小学校の3,4年生の児童参加率H19:参加有料1,906人(2,096)/在籍1,970人、H20-参加有料1,875人(2,039)人/在籍1,930人 H21 鑑賞1,887人/在籍1938人 H22 鑑賞1,936人

# 事務事業事後評価シート[平成26年度事業]

03	鑑賞会参加率	33.2%	33.0%	33.9%	32.4%	鑑賞会参加者/市内小学校児童在籍数
04	参加率1%当りコスト	18.15千円	18.27千円	16.80千円	17.53%	

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

市内の小学3・4年生対象に劇場での芸術鑑賞を体験させることができた。

### 問題点・課題等

各小学校との文化創造との日程調整。文化創造の自主事業として対応してもらっているが、参加料を徴収しているものの文化創造の自己負担が増加してきている。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

### 3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

### 補足説明